

平成26年度海老名市介護保険運営協議会第2回会議 結果

日 時：平成26年9月26日（金）
午後1時30分～午後2時30分
場 所：海老名市役所 政策審議室

出席委員 12名

高橋委員、山川委員、山名委員、久田委員、小賀坂委員、花田委員、平本委員、
樋口委員、橋本委員、内田委員、千葉委員、西海委員、

事務局（保健福祉部） 6名

橋本保健福祉部次長、小澤高齢介護課長、萩原高齢者支援係長
山本介護認定係長、荒井介護保険係長、宮台主任主事

傍聴者 なし

1. 開 会 （司会:小澤高齢介護課長）

2. 会長あいさつ（高橋会長）

本日は、平成26年度第2回目の介護保険運営協議会でございます。

お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。

さて、6月に閉会しました通常国会において「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立いたしました。

内容は多岐にわたるものですが、地域包括ケアシステムの構築をより一層推進すること、介護保険制度の持続可能性を確保するための改革が柱になっているようです。

特に、地域包括ケアシステムの構築については、市町村が主体となり、地域の特性を生かしながら取り組む必要があるとされています。

本年度策定予定の「えびな高齢者プラン 21【第6期】計画」においては、制度改正の趣旨にのっとり、適切な事業、適切な数量等について、計画での位置付けを図ってまいらなければならないものと感じております。

第6期の介護保険事業計画は3年間の計画にとどまらず、団塊の世代がすべて75歳を迎える37年(2025年)を見据えながら、第一歩を踏み出すこととなります。

介護保険は時代とともに変化しておりますが、制度を健全に運営する上で、この運営協議会での議論が重要な役割を担っていると思います。

本日の案件は次第に記載のとおりでございますが、認知症対応型共同生活介護いわゆるグループホームの更新についても案件となっております。

地域密着型サービスは、住みなれた地域で生活を継続するためには、必要なサービスとなります。

委員の皆様のご活発なご意見をお願いします。

3. 議 題(進行:高橋会長)

(1)えびな高齢者プラン 21【第6期】アンケート調査結果について(荒井係長)

- ・調査目的…「えびな高齢者プラン21(第6期)策定に伴い、高齢者保健福祉サービス及び介護保険サービスに関する意見要望等を市民から聴取し、計画策定の基礎資料として活用する。
- ・調査項目…年齢・性別・居住地域・介護認定の有無、家族構成などの基本情報と介護保険制度、サービスに関する全23問。
- ・調査対象者…40歳以上の市民3200名(無作為抽出)
【内訳】40歳から64歳の市民1000人
65歳以上1500人
65歳以上の認定者700人
- ・調査期間…4月30日から5月23日まで
- ・回収状況…1,713件【回収率は53.5%】
- ・集計結果を事務局から説明

委員:「介護保険の利用の有無」について、65歳以上の特定疾病を受けられることは知られているのか疑問。知らないのかもしれない。利用していないという回答が多いのは当然の結果だと思う。

委員:アンケート回収に男女比に差があります。女性の方が元気だということでしょうか。

事務局:男性の抽出が多かったためです。

委員:認定者には全員アンケート依頼してもいいと思う。

委員:「介護予防事業」にある「複合コース」とは、どのようなものか。

事務局:頭の体操と運動を組み合わせたものになります。主に認知のリスクがある方が対象です。

委員:介護予防事業についてどう考えているのか。

事務局:ビナスも出来、環境資源的にも恵まれていると思います。今後も更に重点的に進めていくべき事業だと考えます。

(2)地域密着型サービス事業者の更新について(荒井係長)

- ・従業員の内容…常勤兼務1名、非常勤専従が12名、常勤換算4.7人
 - ・人員基準…認知症介護実践者研修修了
 - ・常勤換算後の人員は基準をみたしている。
 - ・設備基準…サービスを行う上での必要な設備は整っている。
 - ・非常災害設備等…スプリンクラー設備は猶予期限までに建て替え移転
- 意見・質問なく、採決の結果、地域密着型サービス事業者として更新することに異議

なく更新を了承。

(3) 介護保険制度改正の概要について(荒井係長)

- ・ 要支援1と要支援2の要支援者について、予防給付のうち訪問介護と通所介護が市町村事業の地域支援事業に段階的に移行。
- ・ 特別養護老人ホームの入所要件が「要介護3以上」に制限される。
- ・ 第1号被保険者保険料の低所得者軽減制度の強化。
- ・ 一定以上所得のある方のサービス利用負担割合の引き上げ。
- ・ 補足給付の見直し等

特に質問意見なし

(4) さつき町モデル事業について(萩原係長)

- ・ 在宅で医療・介護を受けながら住み続けるためのシステムづくりに取り組むため、高齢化率の高いさつき町をモデル地区として、さつき町集会室を拠点として検証する。

特に質問意見なし

(5) その他(荒井係長)

次回の運営協議会は12月を予定しています。日時と場所は後日通知します。

5. 閉会(山川副会長)

長時間にわたり、ご協議をいただきありがとうございました。

いよいよ、次回の運営協議会において第6期の保険料について協議していきます。

高齢者人口の増加に伴い、介護保険サービス量も増加します。財源となる保険料額についても上昇せざるを得ないのかなと感じているところでありますが、その上げ幅をどの程度に抑えるかが今後の大きな論点となってまいります。

えびな高齢者プラン【第6期】の策定において、サービス量と保険料のバランスを見極め、計画的な介護サービス及び施設整備について推進を図っていただきたいと思います。

以上をもちまして、平成26年度第2回介護保険運営協議会を閉会とさせていただきます。